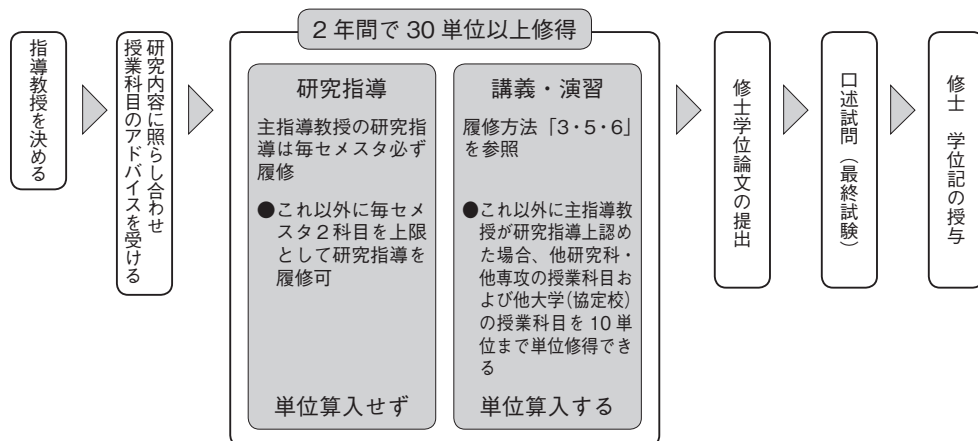


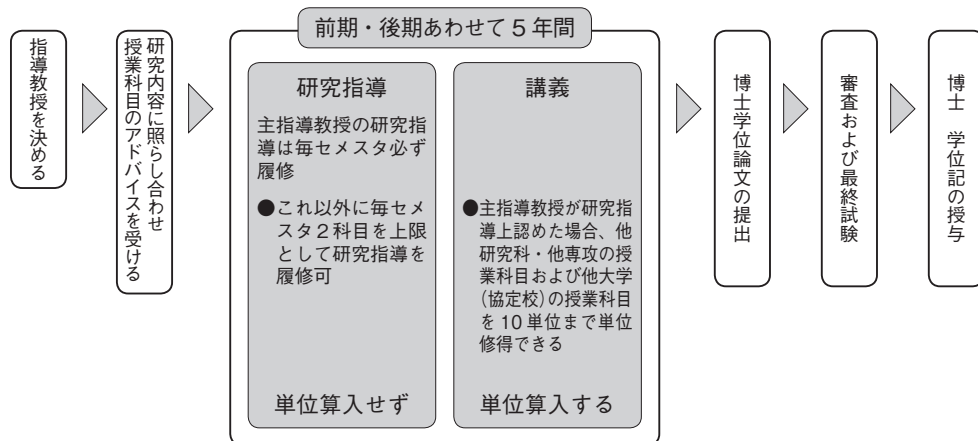
[福祉社会デザイン研究科]

社会福祉学専攻

前期課程 履修の流れ



後期課程 履修の流れ



社会福祉学専攻

博士前期課程

区分	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
共通	春	社会福祉基礎特論Ⅰ	研究基礎論	講義	2	教授	稲沢公一	全コースの必修科目
		社会福祉基礎特論Ⅱ	社会測定評価論	講義	2			本年度休講
	春	社会福祉基礎特論Ⅲ	研究方法論A(量的データの分析)	講義	2	教授(兼任)	志村健一	
	春	社会福祉基礎特論Ⅳ	研究方法論B(質的データの分析)	講義	2	非常勤講師	村社卓	集中講義
	春	社会福祉実務演習A	インターンシップ	演習	2	准教授	加山弾	
	秋	社会福祉実務演習B	インターンシップ	演習	2	准教授	加山弾	
社会福祉原理歴史コース	春	社会福祉原理歴史特論ⅠA	社会福祉原理論	講義	2	教授	稲沢公一	社会福祉学研究指導ⅠAと共通
	秋	社会福祉原理歴史特論ⅠB	社会福祉原理論	講義	2	教授	稲沢公一	社会福祉学研究指導ⅠBと共通
	春	社会福祉原理歴史特論ⅡA	社会福祉思想史論	講義	2	教授	金子光一	社会福祉学研究指導ⅡAと共通
	秋	社会福祉原理歴史特論ⅡB	社会福祉思想史論	講義	2	教授	金子光一	社会福祉学研究指導ⅡBと共通
		社会福祉原理歴史特論ⅢA	社会福祉価値論・社会福祉人権論	講義	2			本年度休講
		社会福祉原理歴史特論ⅢB	社会福祉価値論・社会福祉人権論	講義	2			本年度休講
		社会福祉原理歴史特論ⅣA	社会福祉施設史論	講義	2			本年度休講
		社会福祉原理歴史特論ⅣB	社会福祉施設史論	講義	2			本年度休講
社会福祉政策計画コース	春	社会福祉政策計画特論ⅠA	アドミニストレーション論	講義	2	教授	小林良二	社会福祉学研究指導ⅢAと共通
	秋	社会福祉政策計画特論ⅠB	アドミニストレーション論	講義	2	教授	小林良二	社会福祉学研究指導ⅢBと共通
		社会福祉政策計画特論ⅡA	高齢者福祉政策論	講義	2			本年度休講
		社会福祉政策計画特論ⅡB	高齢者福祉政策論	講義	2			本年度休講
	春	社会福祉政策計画特論ⅢA	社会福祉法制・行政論	講義	2	教授	秋元美世	社会福祉学研究指導ⅤAと共通
	秋	社会福祉政策計画特論ⅢB	社会福祉法制・行政論	講義	2	教授	秋元美世	社会福祉学研究指導ⅤBと共通
	春	社会福祉政策計画特論ⅣA	貧困論	講義	2	非常勤講師	布川日佐史	
	秋	社会福祉政策計画特論ⅣB	貧困論	講義	2	非常勤講師	布川日佐史	
	春	社会福祉政策計画特論ⅤA	高齢者福祉論	講義	2	非常勤講師	奥山正司	
	秋	社会福祉政策計画特論ⅤB	高齢者福祉論	講義	2	非常勤講師	奥山正司	
		社会福祉政策計画特論ⅥA	介護保障・ケアマネジメント	講義	2			本年度休講
		社会福祉政策計画特論ⅥB	介護保障・ケアマネジメント	講義	2			本年度休講
		社会福祉政策計画特論ⅦA	障害者福祉論	講義	2			本年度休講
		社会福祉政策計画特論ⅦB	障害者福祉論	講義	2			本年度休講
	春	社会福祉政策計画特論ⅧA	地域福祉論	講義	2	非常勤講師	三本松政之	
	春	社会福祉政策計画特論ⅧB	地域福祉論	講義	2	非常勤講師	三本松政之	
	春	社会福祉政策計画特論ⅨA	地域活動計画論	講義	2	准教授	加山弾	社会福祉学研究指導ⅨAと共通
	秋	社会福祉政策計画特論ⅨB	地域活動計画論	講義	2	准教授	加山弾	社会福祉学研究指導ⅨBと共通
ソーシャルワークコース	春	ソーシャルワーク特論ⅠA	ジェネリック・ソーシャルワーク論	講義	2	教授	佐藤豊道	社会福祉学研究指導ⅥAと共通
	秋	ソーシャルワーク特論ⅠB	ジェネリック・ソーシャルワーク論	講義	2	教授	佐藤豊道	社会福祉学研究指導ⅥBと共通
	春	ソーシャルワーク特論ⅡA	ソーシャルワーク実践論	講義	2	客員教授	野村豊子	社会福祉学研究指導ⅦAと共通
	秋	ソーシャルワーク特論ⅡB	ソーシャルワーク実践論	講義	2	客員教授	野村豊子	社会福祉学研究指導ⅦBと共通
		ソーシャルワーク特論ⅢA	子ども家庭ソーシャルワーク論	講義	2			本年度休講
		ソーシャルワーク特論ⅢB	子ども家庭ソーシャルワーク論	講義	2			本年度休講
	春	ソーシャルワーク特論ⅣA	ソーシャルワーク・リサーチ	講義	2	非常勤講師(兼任)	北島英治	
	秋	ソーシャルワーク特論ⅣB	スーパービジョン論	講義	2	非常勤講師(兼任)	北島英治	

区分	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
研究指導	春	社会福祉学研究指導ⅠA	社会福祉原理論			教授	稲沢公一	
	秋	社会福祉学研究指導ⅠB	社会福祉原理論			教授	稲沢公一	
	春	社会福祉学研究指導ⅡA	社会福祉思想史論			教授	金子光一	
	秋	社会福祉学研究指導ⅡB	社会福祉思想史論			教授	金子光一	
	春	社会福祉学研究指導ⅢA	アドミニストレーション論			教授	小林良二	
	秋	社会福祉学研究指導ⅢB	アドミニストレーション論			教授	小林良二	
			社会福祉学研究指導ⅣA	高齢者福祉政策論				本年度休講
			社会福祉学研究指導ⅣB	高齢者福祉政策論				本年度休講
	春	社会福祉学研究指導ⅤA	社会福祉法制・行政論			教授	秋元美世	
	秋	社会福祉学研究指導ⅤB	社会福祉法制・行政論			教授	秋元美世	
	春	社会福祉学研究指導ⅥA	ジェネリック・ソーシャルワーク論			教授	佐藤豊道	
	秋	社会福祉学研究指導ⅥB	ジェネリック・ソーシャルワーク論			教授	佐藤豊道	
	春	社会福祉学研究指導ⅦA	ソーシャルワーク実践論			客員教授	野村豊子	
	秋	社会福祉学研究指導ⅦB	ソーシャルワーク実践論			客員教授	野村豊子	
			社会福祉学研究指導ⅧA	子ども家庭ソーシャルワーク論				本年度休講
			社会福祉学研究指導ⅧB	子ども家庭ソーシャルワーク論				本年度休講
	春	社会福祉学研究指導ⅨA	地域活動計画論			准教授	加山 弾	
	秋	社会福祉学研究指導ⅨB	地域活動計画論			准教授	加山 弾	

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 「社会福祉基礎特論Ⅰ」はコースを問わず必修科目なので、全員必ず履修・単位修得すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」はセメスタ毎に3科目（主指導教授1名＜必須＞・副指導教授2名＜任意＞）を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎セメスタ必ず履修すること。
- 主指導教授が担当する「講義」は、在学中2回（8単位）まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる（「研究指導」と共通して開講されているもので、2科目（A＜春学期開講＞・B＜秋学期開講＞）のみが対象となる）。
3回目以降（原級した場合等）の履修・聴講は「自由聴講」扱いとなり、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。
- 上記5. 以外の「演習」または「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、修了単位として認められるのは、最初に取得した成績および単位のみとする。したがって、2回目以降の履修・聴講は「自由聴講」扱いとなり、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士後期課程

区分	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
社会福祉原理歴史コース	春	社会福祉原理歴史研究ⅠA	社会福祉原理研究	講義	2	教授	稲沢公一	社会福祉学研究指導ⅠAと共通
	秋	社会福祉原理歴史研究ⅠB	社会福祉原理研究	講義	2	教授	稲沢公一	社会福祉学研究指導ⅠBと共通
	春	社会福祉原理歴史研究ⅡA	社会福祉思想史研究	講義	2	教授	金子光一	社会福祉学研究指導ⅡAと共通
	秋	社会福祉原理歴史研究ⅡB	社会福祉思想史研究	講義	2	教授	金子光一	社会福祉学研究指導ⅡBと共通
社会福祉政策計画コース	春	社会福祉政策計画研究ⅠA	保健福祉政策計画研究	講義	2	教授	小林良二	社会福祉学研究指導ⅢAと共通
	秋	社会福祉政策計画研究ⅠB	保健福祉政策計画研究	講義	2	教授	小林良二	社会福祉学研究指導ⅢBと共通
		社会福祉政策計画研究ⅡA	高齢者福祉政策研究	講義	2			本年度休講
		社会福祉政策計画研究ⅡB	高齢者福祉政策研究	講義	2			本年度休講
	春	社会福祉政策計画研究ⅢA	社会福祉法制研究	講義	2	教授	秋元美世	社会福祉学研究指導ⅤAと共通
	秋	社会福祉政策計画研究ⅢB	社会福祉法制研究	講義	2	教授	秋元美世	社会福祉学研究指導ⅤBと共通
		社会福祉政策計画研究ⅣA	保健医療福祉研究	講義	2			本年度休講
		社会福祉政策計画研究ⅣB	保健医療福祉研究	講義	2			本年度休講
	春	社会福祉政策計画研究ⅤA	高齢者ケアシステム研究	講義	2	教授(兼任)	須田木綿子	
	秋	社会福祉政策計画研究ⅤB	高齢者ケアシステム研究	講義	2	教授(兼任)	須田木綿子	
ソーシャルワークコース	春	ソーシャルワーク研究ⅠA	ジェネリック・ソーシャルワーク研究	講義	2	教授	佐藤豊道	社会福祉学研究指導ⅥAと共通
	秋	ソーシャルワーク研究ⅠB	ジェネリック・ソーシャルワーク研究	講義	2	教授	佐藤豊道	社会福祉学研究指導ⅥBと共通
	春	ソーシャルワーク研究ⅡA	ソーシャルワーク実践研究	講義	2	客員教授	野村豊子	社会福祉学研究指導ⅦAと共通
	秋	ソーシャルワーク研究ⅡB	ソーシャルワーク実践研究	講義	2	客員教授	野村豊子	社会福祉学研究指導ⅦBと共通
	春	ソーシャルワーク研究ⅢA	障がい者ソーシャルワーク研究	講義	2	教授	志村健一	社会福祉学研究指導ⅧAと共通
	秋	ソーシャルワーク研究ⅢB	障がい者ソーシャルワーク研究	講義	2	教授	志村健一	社会福祉学研究指導ⅧBと共通
研究指導	春	社会福祉学研究指導ⅠA	社会福祉原理研究			教授	稲沢公一	
	秋	社会福祉学研究指導ⅠB	社会福祉原理研究			教授	稲沢公一	
	春	社会福祉学研究指導ⅡA	社会福祉思想史研究			教授	金子光一	
	秋	社会福祉学研究指導ⅡB	社会福祉思想史研究			教授	金子光一	
	春	社会福祉学研究指導ⅢA	保健福祉政策計画研究			教授	小林良二	
	秋	社会福祉学研究指導ⅢB	保健福祉政策計画研究			教授	小林良二	
		社会福祉学研究指導ⅣA	高齢者福祉政策研究					本年度休講
		社会福祉学研究指導ⅣB	高齢者福祉政策研究					本年度休講
	春	社会福祉学研究指導ⅤA	社会福祉法制研究			教授	秋元美世	
	秋	社会福祉学研究指導ⅤB	社会福祉法制研究			教授	秋元美世	
	春	社会福祉学研究指導ⅥA	ジェネリック・ソーシャルワーク研究			教授	佐藤豊道	
	秋	社会福祉学研究指導ⅥB	ジェネリック・ソーシャルワーク研究			教授	佐藤豊道	
	春	社会福祉学研究指導ⅦA	ソーシャルワーク実践研究			客員教授	野村豊子	
	秋	社会福祉学研究指導ⅦB	ソーシャルワーク実践研究			客員教授	野村豊子	
春	社会福祉学研究指導ⅧA	障がい者ソーシャルワーク研究			教授	志村健一		
秋	社会福祉学研究指導ⅧB	障がい者ソーシャルワーク研究			教授	志村健一		

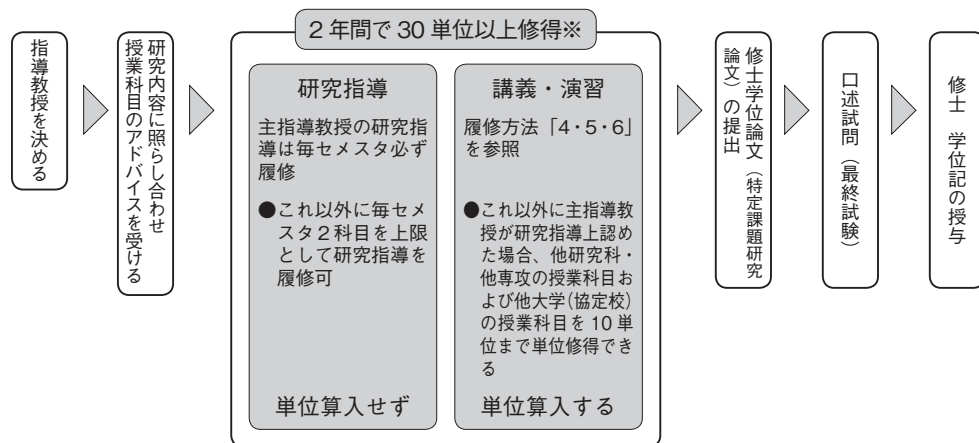
履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」はセメスタ毎に3科目(主指導教授1名<必須>・副指導教授2名<任意>)を上限として、履修・単位修得(0単位)することができる(各研究指導は、指定された講義において行う)。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎セメスタ必ず履修すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学(協定校)の授業科目を10単位まで単位修得することができる(同一名称の科目は1回のみ単位修得できる)。

福祉社会システム専攻

修士課程

履修の流れ



特定課題研究論文を修士学位論文に代える場合は、2年間で36単位以上修得

福祉社会システム専攻

修士課程

区分	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
共通	春	福祉社会システム基礎特論Ⅰ	研究基礎論	講義	2	教授	須田 木綿子	全コースの必修科目
		福祉社会システム基礎特論Ⅱ	社会測定評価論	講義	2			本年度休講
	秋	福祉社会システム基礎特論Ⅲ	研究方法論 A(量的データの分析)	講義	2	非常勤講師	北島 英治	
	秋	福祉社会システム基礎特論Ⅳ	研究方法論 B(質的データの分析)	講義	2	教授(兼任)	谷口 明子	
	春	福祉社会システム基礎特論Ⅴ	専門職の価値と倫理	講義	2	准教授	村尾 祐美子	福祉社会システム研究指導Ⅶ Aと共通
	春	福祉社会システム基礎特論Ⅵ	社会調査論	講義	2	非常勤講師	大竹 延幸	
	秋	福祉社会システム基礎特論Ⅶ	現代社会と権利擁護	講義	2	非常勤講師	川島 聡	(隔年開講)
	春	福祉社会システム基礎特論Ⅷ	社会学的認知論	講義	2	教授	紀 葉子	福祉社会システム研究指導Ⅷ Aと共通
	秋	福祉社会システム基礎特論Ⅸ	社会学的認知論	講義	2	教授	紀 葉子	福祉社会システム研究指導Ⅷ Bと共通
地域社会システムコース		地域社会システム特論Ⅰ A	地域社会システム論	講義	2			本年度休講
		地域社会システム特論Ⅰ B	地域社会システム論	講義	2			本年度休講
	春	地域社会システム特論Ⅱ A	国際地域社会論	講義	2	教授	松本 誠一	福祉社会システム研究指導Ⅱ Aと共通
	秋	地域社会システム特論Ⅱ B	国際地域社会論	講義	2	教授	松本 誠一	福祉社会システム研究指導Ⅱ Bと共通
	春	地域社会システム特論Ⅲ A	都市マイノリティ・スタディーズ	講義	2	教授	文 貞實	福祉社会システム研究指導Ⅲ Aと共通
	秋	地域社会システム特論Ⅲ B	都市マイノリティ・スタディーズ	講義	2	教授	文 貞實	福祉社会システム研究指導Ⅲ Bと共通
	春	地域社会システム特論Ⅳ A	死生論、社会・文化変動論	講義	2	教授	井上 治代	福祉社会システム研究指導Ⅳ Aと共通
	秋	地域社会システム特論Ⅳ B	死生論、社会・文化変動論	講義	2	教授	井上 治代	福祉社会システム研究指導Ⅳ Bと共通
	春	地域社会システム特論Ⅴ	地域社会論	講義	2	教授	渡辺 満久	
	春	地域社会システム特論Ⅵ	現代社会論	講義	2	教授	紀 葉子	
		地域社会システム特論Ⅶ	現代家族論	講義	2			本年度休講
		地域社会システム特論Ⅷ	社会情報論(地域メディア論)	講義	2			本年度休講
	秋	地域社会システム特論Ⅸ	女性労働論	講義	2	准教授	村尾 祐美子	福祉社会システム研究指導Ⅸ Bと共通
		地域社会システム特論Ⅹ	国際社会問題論	講義	2			本年度休講
	春	地域社会システム特論ⅩⅠ	国際社会福祉問題論	講義	2	非常勤講師	森田 明彦	
	秋	地域社会システム特論ⅩⅡ	外国人市民論	講義	2	非常勤講師	伊藤 正子	
保健福祉システムコース		保健福祉システム特論Ⅰ A	保健医療福祉論	講義	2			本年度休講
		保健福祉システム特論Ⅰ B	保健医療福祉論	講義	2			本年度休講
		保健福祉システム特論Ⅱ A	ケアマネジメント論	講義	2			本年度休講
		保健福祉システム特論Ⅱ B	ケアマネジメント論	講義	2			本年度休講
	秋	保健福祉システム特論Ⅲ	医療ソーシャルワーク論	講義	2	非常勤講師	若林 浩司	
	春	保健福祉システム特論Ⅳ	医療組織論	講義	2	教授(兼任)	原山 哲	
		保健福祉システム特論Ⅴ	貧困論	講義	2			本年度休講
		保健福祉システム特論Ⅵ	医療マネジメント論	講義	2			本年度休講(隔年開講)
	秋	保健福祉システム特論Ⅶ	スーパービジョン論	講義	2	非常勤講師	北島 英治	
	秋	保健福祉システム特論Ⅷ	医療の質管理論	講義	2	非常勤講師	浅野 晃司	
		保健福祉システム特論Ⅸ	福祉工学	講義	2			本年度休講
	春	保健福祉システム特論Ⅹ	老年医学の高齢者論	講義	2	非常勤講師	高橋 龍太郎	
	秋	保健福祉システム特論ⅩⅠ	老年医学の高齢者論	講義	2	非常勤講師	高橋 龍太郎	
	春	保健福祉システム特論ⅩⅡ A	障害者ケアシステム論	講義	2	教授	志村 健一	福祉社会システム研究指導Ⅹ Aと共通
秋	保健福祉システム特論ⅩⅡ B	障害者ケアシステム論	講義	2	教授	志村 健一	福祉社会システム研究指導Ⅹ Bと共通	

区分	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
地域福祉システムコース	春	地域福祉システム特論ⅠA	高齢者ケアシステム論	講義	2	教授	須田 木綿子	福祉社会システム研究指導ⅦAと共通
	秋	地域福祉システム特論ⅠB	高齢者ケアシステム論	講義	2	教授	須田 木綿子	福祉社会システム研究指導ⅦBと共通
	春	地域福祉システム特論ⅡA	権利擁護論	講義	2	教授	高山 直樹	福祉社会システム研究指導ⅧAと共通
	秋	地域福祉システム特論ⅡB	権利擁護論	講義	2	教授	高山 直樹	福祉社会システム研究指導ⅧBと共通
	春	地域福祉システム特論ⅢA	地域福祉論	講義	2	准教授	山本 美香	福祉社会システム研究指導ⅨAと共通
	秋	地域福祉システム特論ⅢB	地域福祉論	講義	2	准教授	山本 美香	福祉社会システム研究指導ⅨBと共通
	春	地域福祉システム特論Ⅳ	ジェネリック・ソーシャルワーク論	講義	2	教授(兼任)	佐藤 豊道	
		地域福祉システム特論Ⅴ	子ども家庭ソーシャルワーク論	講義	2			本年度休講
	春	地域福祉システム特論Ⅵ	福祉アドミニストレーション論	講義	2	教授(兼任)	小林 良二	
	秋	地域福祉システム特論Ⅶ	非営利組織論	講義	2			本年度休講
春	地域福祉システム特論Ⅷ	都市問題論	講義	2	非常勤講師	皆川 満寿美		
	地域福祉システム特論Ⅸ	精神保健論	講義	2	教授(兼任)	白石 弘巳		
研究指導		福祉社会システム研究指導ⅠA	地域社会システム論					本年度休講
		福祉社会システム研究指導ⅠB	地域社会システム論					本年度休講
	春	福祉社会システム研究指導ⅡA	国際地域社会論			教授	松本 誠一	
	秋	福祉社会システム研究指導ⅡB	国際地域社会論			教授	松本 誠一	
	春	福祉社会システム研究指導ⅢA	社会的公正とマイノリティ問題			教授	文 貞實	
	秋	福祉社会システム研究指導ⅢB	社会的公正とマイノリティ問題			教授	文 貞實	
	春	福祉社会システム研究指導ⅣA	死生論、社会・文化変動論			教授	井上 治代	
	秋	福祉社会システム研究指導ⅣB	死生論、社会・文化変動論			教授	井上 治代	
		福祉社会システム研究指導ⅤA	保健医療福祉論					本年度休講
		福祉社会システム研究指導ⅤB	保健医療福祉論					本年度休講
	春	福祉社会システム研究指導ⅥA	ケアマネジメント論			教授	藤林 慶子	
	秋	福祉社会システム研究指導ⅥB	ケアマネジメント論			教授	藤林 慶子	
	春	福祉社会システム研究指導ⅦA	高齢者ケアシステム論			教授	須田 木綿子	
	秋	福祉社会システム研究指導ⅦB	高齢者ケアシステム論			教授	須田 木綿子	
	春	福祉社会システム研究指導ⅧA	権利擁護論			教授	高山 直樹	
	秋	福祉社会システム研究指導ⅧB	権利擁護論			教授	高山 直樹	
	春	福祉社会システム研究指導ⅨA	障害者ケアシステム論			教授	志村 健一	
	秋	福祉社会システム研究指導ⅨB	障害者ケアシステム論			教授	志村 健一	
	春	福祉社会システム研究指導ⅩA	社会学的認知論			教授	紀 葉子	
	秋	福祉社会システム研究指導ⅩB	社会学的認知論			教授	紀 葉子	
春	福祉社会システム研究指導ⅪA	地域福祉論			准教授	山本 美香		
秋	福祉社会システム研究指導ⅪB	地域福祉論			准教授	山本 美香		
春	福祉社会システム研究指導ⅫA	社会学的労働論			准教授	村尾 祐美子		
秋	福祉社会システム研究指導ⅫB	社会学的労働論			准教授	村尾 祐美子		

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 「福祉社会システム基礎特論Ⅰ」はコースを問わず必修科目なので、全員必ず履修・単位修得すること。
- 指導教授は、主旨導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主旨導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ3科目毎に（主旨導教授1名＜必須＞・副指導教授2名＜任意＞）を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
- 主旨導教授の「研究指導」は、毎セメスタ必ず履修すること。
- 主旨導教授が担当する「講義」は、在学中2回（8単位）まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる（「研究指導」と共通して開講されているもので、2科目（A＜春学期開講＞・B＜秋学期開講＞）のみが対象となる）。
3回目以降（原級した場合等）の履修・聴講は「自由聴講」扱いとなり、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。
- 上記5. 以外の「講義」は、在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、修了単位として認められるのは、最初に取得した成績および単位のみとする。したがって、2回目以降の履修・聴講は「自由聴講」扱いとなり、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。
- 福祉社会システム専攻においては、「特定課題研究論文」（特定の課題についての研究成果報告書（12,000字以上のもの3本））の審査をもって修士論文の審査に代えることができる（P.180参照）。「特定課題研究論文」による審査の場合の修了に必要な単位数は36単位以上とする。
この「特定課題研究論文」の選択は、原則として入学時にのみ可能である。これを選択する場合は、予め窓口申し出ること。

福祉社会デザイン研究科福祉社会システム専攻

特定課題研究論文について

本専攻では、修士学位論文または特定課題研究論文の提出を認めています。

『特定課題研究論文』とは、「特定の課題について、実践的に調査・研究した論文」をいいます。

2007（平成19）年度より、『特定課題研究論文』の制度を下記のとおり変更しました。

記

1. 特定課題研究論文は、12,000字以上を3本提出とする。
なお、修了単位は「原則2年以上の在学中で、36単位以上を修得」する。
2. 原則として入学時に選択する。
3. 提出時期等は、下表のとおりとなる。

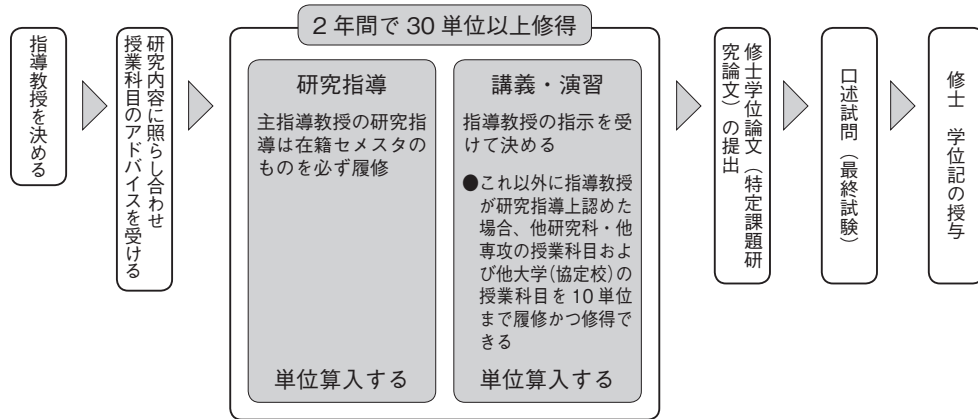
題目届提出締切日	論文提出時期（3本まとめたもの）
2014（平成26）年4月19日（土）	修士学位論文提出時期に同じ
2014（平成26）年10月4日（土）	

※3本のうち、1・2本目の提出時期は、主指導教授の指示を受け、適宜主・副指導教授に直接提出すること。
（所定の提出時期・様式は定めない。）

※3本目は、「修士学位論文」同様の提出時期・様式で、3本まとめたものを大学院教務課窓口に出すこと。

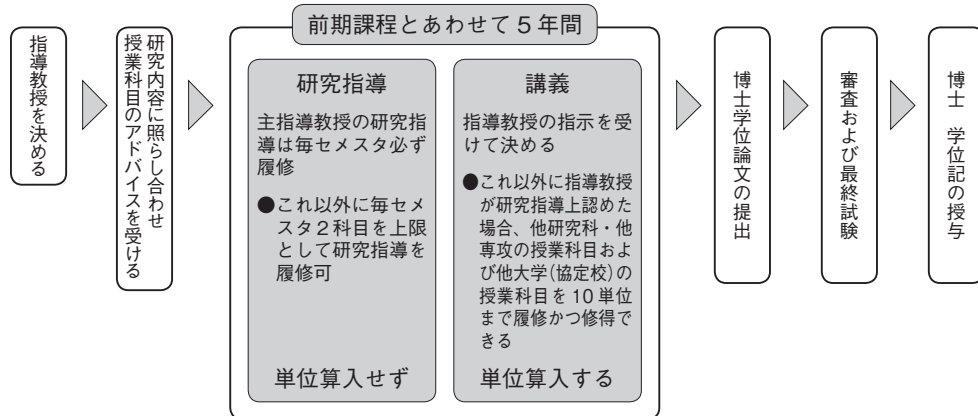
ヒューマンデザイン専攻

前期課程 履修の流れ

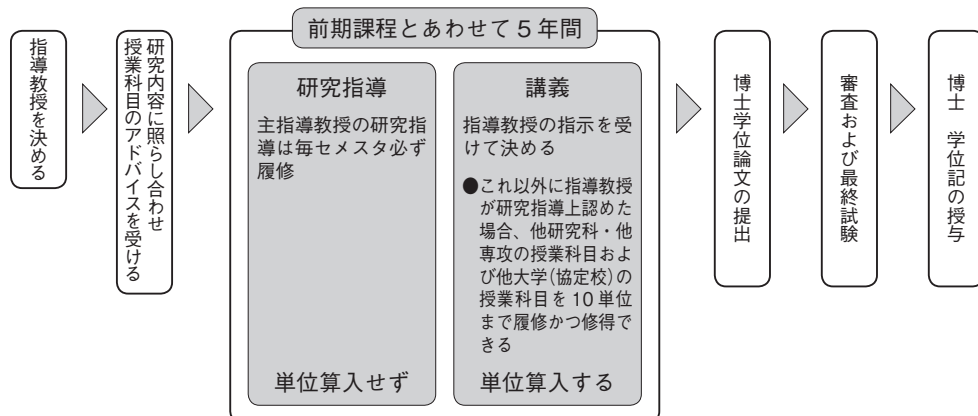


ヒューマン
デザイン

後期課程 履修の流れ 2008年度以前入学生



後期課程 履修の流れ 2009年度以降入学生



ヒューマンデザイン専攻

博士前期課程

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名、副指導教授1名（特に主指導教授から指示があった場合は、2名）とし、主指導教授は、課程表の「ヒューマンデザイン研究指導ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB」を担当する教員の中から選ぶ。
- 研究指導は、各自の在籍セメスタごとに主指導教授のみの「研究指導」を履修すること。これにより履修した研究指導の各2単位は、修了要件の単位に充当する。
- 同一科目を2回以上履修・単位修得することはできない。主指導教授の科目であっても1回のみ履修・単位修得とする。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで履修・単位修得することができる。修得した単位は修了要件の単位に充当する。
- ヒューマンデザイン専攻においては、修士論文に代えて、特定の課題についての研究成果報告書の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。この「特定課題研究」の選択は、原則として入学時にものみ可能である。これを選択する場合は、予め窓口申し出ること。

※「特定課題研究」について

研究分野によっては、計画をもって「特定課題研究」とすることができる。

予め指導教授と相談のうえ窓口申し出ること。

7. ヒューマンデザイン実践研究A・Bについて

- ヒューマンデザイン専攻では、院生が専門分野で社会実践（調査・実習・インターンシップを含む）を行うことを歓迎し推奨している。その社会実践が45時間（1.5時間×2回×15週）を超える場合、院生は実践先から証明を得て、その成果をレポートとして提出することができる。このレポートが一定の水準を満たせば、院生の主指導教授は2単位の演習科目を履修したものと認定し成績を評価する。
- 実践研究Aは春学期、実践研究Bは秋学期に配置し、在学期間中に各1回履修かつ単位修得することができる。
- この演習科目は、ToyoNet-Gによる履修登録はできないので、主指導教授と相談の上、実践予定学期の履修登録期間中に、朝霞事務課窓口で配布する「ヒューマンデザイン実践研究履修届出用紙」に記入して提出すること。

8. アジア福祉社会調査演習Ⅰ・Ⅱについて

- この演習科目はアジア地域に実際に赴き、各国における福祉施設や社会福祉政策について調査や実習、インターンシップに従事した場合、その成果をレポートとして提出することができる。このレポートが一定の水準を満たせば、担当教員は2単位の演習科目を履修したものと認定し成績を評価する。
- 演習Ⅰは1年次、Ⅱは2年次に配置し、原則、休暇中に現地にて実践した成果を次学期に評価し単位認定するものとし、在学期間中に各1回履修かつ単位修得することができる。
- この演習科目は、ToyoNet-Gによる履修登録はできないので、担当教員と相談の上、各学期の履修登録期間中に、朝霞事務課窓口で配布する「アジア福祉社会調査演習履修届出用紙」に記入して提出すること。

コース	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
共通	春	(必修) ヒューマンデザイン基礎特論Ⅰ	ヒューマンデザイン研究入門	講義	2		鈴木(佐)・角藤・吉浦・大迫 (以上代表者)	全コースの必修科目
	—	ヒューマンデザイン基礎特論Ⅱ	生活支援学基礎研究	講義	2			本年度休講(隔年開講)
	春	ヒューマンデザイン実践研究A		演習	2		研究指導担当全教員	
	秋	ヒューマンデザイン実践研究B		演習	2		研究指導担当全教員	
	秋	アジア福祉社会調査演習Ⅰ (1年次配当)			演習	2	准教授 木内 明	
	春・秋	アジア福祉社会調査演習Ⅱ (2年次配当)			演習	2	准教授 木内 明	

コース	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考	
子ども支援学コース	春	子ども支援学特論ⅠA	児童福祉論	講義	2	教授	森田明美		
	秋	子ども支援学特論ⅠB	児童福祉論	講義	2	教授	森田明美		
	春	子ども支援学特論ⅡA	児童福祉発達史	講義	2	教授	菊池義昭		
	秋	子ども支援学特論ⅡB	児童福祉発達史	講義	2	教授	菊池義昭		
	春	子ども支援学特論ⅢA	発達神経学的子ども健康支援論	講義	2	教授	杉田記代子		
	秋	子ども支援学特論ⅢB	発達神経学的子ども健康支援論	講義	2	教授	杉田記代子		
	一	子ども支援学特論ⅣA	子ども心理発達支援論	講義	2			本年度休講	
	秋	子ども支援学特論ⅣB	子ども心理発達支援論	講義	2	教授	中原美恵		
	春	子ども支援学特論ⅤA	保育学	講義	2	非常勤講師	清水玲子		
	秋	子ども支援学特論ⅤB	保育学	講義	2	非常勤講師	清水玲子		
	春	子ども支援学特論ⅥA	子ども表現活動支援論	講義	2	教授	角藤智津子		
	秋	子ども支援学特論ⅥB	子ども表現活動支援論	講義	2	教授	角藤智津子		
	春	子ども支援学特論ⅦA	児童養護論	講義	2	教授	小林英義		
	秋	子ども支援学特論ⅦB	児童養護論	講義	2	教授	小林英義		
	春	子ども支援学特論Ⅷ	子ども支援計画論	講義	2	非常勤講師	小野道子	隔年開講、集中講義	
	一	子ども支援学特論Ⅸ	児童福祉施設運営論	講義	2			本年度休講(隔年開講)	
	一	子ども支援学特論ⅩA	子どもの権利論	講義	2			本年度休講	
	一	子ども支援学特論ⅩB	子どもの権利論	講義	2			本年度休講	
	春	子ども支援学特論ⅩⅠA	子どもの権利擁護システム論	講義	2	非常勤講師	荒牧重人	隔年開講(2015年度休講)	
	秋	子ども支援学特論ⅩⅠB	子どもの権利擁護システム論	講義	2	非常勤講師	荒牧重人	隔年開講(2015年度休講)	
	春	子ども支援学特論ⅩⅡA	幼児教育学	講義	2	教授	鈴木佐喜子		
	秋	子ども支援学特論ⅩⅡB	幼児教育学	講義	2	教授	鈴木佐喜子		
	春	子ども支援学特論ⅩⅢA	健康保育論	講義	2	教授	嶋崎博嗣		
	秋	子ども支援学特論ⅩⅢB	健康保育論	講義	2	教授	嶋崎博嗣		
	高齢者・障害者支援学コース	春	高齢者・障害者支援学特論ⅠA	障害者福祉論	講義	2	教授	是枝喜代治	
		秋	高齢者・障害者支援学特論ⅠB	障害者福祉論	講義	2	教授	是枝喜代治	
春		高齢者・障害者支援学特論ⅡA	精神保健論	講義	2	教授	白石弘巳		
秋		高齢者・障害者支援学特論ⅡB	精神保健論	講義	2	教授	白石弘巳		
春		高齢者・障害者支援学特論ⅢA	介護福祉論	講義	2	教授	渡辺裕美		
秋		高齢者・障害者支援学特論ⅢB	介護福祉論	講義	2	教授	渡辺裕美		
春		高齢者・障害者支援学特論ⅣA	データ収集と分析基礎	講義	2	教授	本名靖		
秋		高齢者・障害者支援学特論ⅣB	データ収集と分析基礎	講義	2	教授	本名靖		
春		高齢者・障害者支援学特論ⅤA	レクリエーション支援論	講義	2	教授	坂口正治		
秋		高齢者・障害者支援学特論ⅤB	レクリエーション支援論	講義	2	教授	坂口正治		
一		高齢者・障害者支援学特論Ⅵ	障害者支援制度・政策論	講義	2			本年度休講	
秋		高齢者・障害者支援学特論Ⅶ	障害者権利擁護論	講義	2	教授(兼担)	高山直樹		
春		高齢者・障害者支援学特論Ⅷ	死・ターミナルケアの社会学	講義	2	教授(兼担)	井上治代		
一		高齢者・障害者支援学特論Ⅸ	高齢者支援制度・政策論	講義	2			本年度休講	
春		高齢者・障害者支援学特論ⅩA	保健医療福祉調査論	講義	2	准教授	的場智子		
秋		高齢者・障害者支援学特論ⅩB	保健医療福祉調査論	講義	2	准教授	的場智子		
春		高齢者・障害者支援学特論ⅪA	医療福祉論	講義	2	教授	吉浦輪		
秋		高齢者・障害者支援学特論ⅪB	医療福祉論	講義	2	教授	吉浦輪		
春		高齢者・障害者支援学特論ⅫA	高齢者・障害者リハビリテーション原論	講義	2	非常勤講師	藤井博之	集中講義	
秋		高齢者・障害者支援学特論ⅫB	高齢者・障害者リハビリテーション原論	講義	2	非常勤講師	藤井博之	集中講義	

コース	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
健康デザイン学コース	—	健康デザイン学特論ⅠA	スポーツ人類学	講義	2			本年度休講
	—	健康デザイン学特論ⅠB	スポーツ人類学	講義	2			本年度休講
	—	健康デザイン学特論ⅡA	スポーツ史	講義	2			本年度休講
	—	健康デザイン学特論ⅡB	スポーツ史	講義	2			本年度休講
	春	健康デザイン学特論ⅢA	スポーツ民族論	講義	2	准教授	木内 明	
	秋	健康デザイン学特論ⅢB	スポーツ民族論	講義	2	准教授	木内 明	
	—	健康デザイン学特論ⅣA	人体構造論	講義	2			本年度休講 (隔年開講)
	—	健康デザイン学特論ⅣB	人体構造論	講義	2			本年度休講 (隔年開講)
	—	健康デザイン学特論ⅤA	健康増進論	講義	2			本年度休講 (隔年開講)
	—	健康デザイン学特論ⅤB	健康増進論	講義	2			本年度休講 (隔年開講)
	—	健康デザイン学特論ⅥA	身体機能論	講義	2			本年度休講 (隔年開講)
	—	健康デザイン学特論ⅥB	身体機能論	講義	2			本年度休講 (隔年開講)
	—	健康デザイン学特論ⅦA	ヘルスプロモーション論	講義	2			本年度休講 (隔年開講)
	—	健康デザイン学特論ⅦB	ヘルスプロモーション論	講義	2			本年度休講 (隔年開講)
	春	健康デザイン学特論ⅧA	運動制御論	講義	2	教授	古川 覚	
	秋	健康デザイン学特論ⅧB	運動制御論	講義	2	教授	古川 覚	
	—	健康デザイン学特論ⅨA	コンディショニング論	講義	2			本年度休講 (隔年開講)
	—	健康デザイン学特論ⅨB	コンディショニング論	講義	2			本年度休講 (隔年開講)
	春	健康デザイン学演習ⅠA	ヘルスプロモーション論演習	演習	2	教授	齊藤 恭平	隔年開講 (2015年度休講)
	秋	健康デザイン学演習ⅠB	ヘルスプロモーション論演習	演習	2	教授	齊藤 恭平	隔年開講 (2015年度休講)
	春	健康デザイン学演習ⅡA	健康増進論演習	演習	2	教授	神野 宏司	隔年開講 (2015年度休講)
	秋	健康デザイン学演習ⅡB	健康増進論演習	演習	2	教授	神野 宏司	隔年開講 (2015年度休講)
	春	健康デザイン学演習ⅢA	身体機能論演習	演習	2	教授	鈴木 哲郎	隔年開講 (2015年度休講)
	秋	健康デザイン学演習ⅢB	身体機能論演習	演習	2	教授	鈴木 哲郎	隔年開講 (2015年度休講)
	春	健康デザイン学演習ⅣA	人体構造論演習	演習	2	非常勤講師	山下 靖雄	
	秋	健康デザイン学演習ⅣB	人体構造論演習	演習	2	非常勤講師	山下 靖雄	
春	健康デザイン学演習ⅤA	人体構造観察法演習	演習	2	教授	大迫 正文	隔年開講 (2015年度休講)	
秋	健康デザイン学演習ⅤB	人体構造観察法演習	演習	2	教授	大迫 正文	隔年開講 (2015年度休講)	
春	健康デザイン学演習ⅥA	コンディショニング演習	演習	2	准教授	岩本 紗由美	隔年開講 (2015年度休講)	
秋	健康デザイン学演習ⅥB	コンディショニング演習	演習	2	准教授	岩本 紗由美	隔年開講 (2015年度休講)	
研究指導								
子ども支援学コース	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅠA			2		森田、杉田、 中原 [春学期休講]、角藤、小林、 鈴木 (佐)、嶋崎、 菊池	1セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅠB			2			2セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅡA			2			3セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅡB			2			4セメスタ以上在籍者
高齢者・障害者支援学コース	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅠA			2		是枝、白石、 渡辺、本名、 吉浦、的場	1セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅠB			2			2セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅡA			2			3セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅡB			2			4セメスタ以上在籍者
健康デザイン学コース	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅠA			2		大迫、神野、 古川、鈴木 (哲)、 齊藤、木内、 岩本	1セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅠB			2			2セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅡA			2			3セメスタ在籍者
	春・秋	ヒューマンデザイン研究指導ⅡB			2			4セメスタ以上在籍者

注：春・秋は、春または秋の意で、在籍セメスタの学期を指す。

博士後期課程（2008年度以前入学生）

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
- 主指導教授の「研究指導」（★印の科目）は、毎セメスタ必ず履修すること。
- 本表に掲げたもののほか、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで履修・単位修得することができる（同一名称科目は1回のみ単位修得できる）。

【2008年度以前入学生課程表】

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	配当年次	職名	担当教員	備考
子ども支援学研究ⅠA ～児童福祉論～	講義	2	1・2・3	教授	森田明美	ヒューマンデザイン研究指導ⅠAと共通
子ども支援学研究ⅠB ～児童福祉論～	講義	2	1・2・3	教授	森田明美	ヒューマンデザイン研究指導ⅠBと共通
子ども支援学研究ⅡA ～脳科学に基づいた子ども健康発達支援論～	講義	2	1・2・3	教授	杉田記代子	ヒューマンデザイン研究指導ⅡAと共通
子ども支援学研究ⅡB ～脳科学に基づいた子ども健康発達支援論～	講義	2	1・2・3	教授	杉田記代子	ヒューマンデザイン研究指導ⅡBと共通
子ども支援学研究ⅢA ～子どもの権利論～	講義	2	1・2・3			本年度休講（隔年開講）
子ども支援学研究ⅢB ～子どもの権利論～	講義	2	1・2・3			本年度休講（隔年開講）
子ども支援学研究ⅣA ～子どもの権利擁護システム論～	講義	2	1・2・3	非常勤講師	荒牧重人	隔年開講（2015年度休講）
子ども支援学研究ⅣB ～子どもの権利擁護システム論～	講義	2	1・2・3	非常勤講師	荒牧重人	隔年開講（2015年度休講）
子ども支援学研究ⅤA ～幼児教育学～	講義	2	1・2・3			本年度休講
子ども支援学研究ⅤB ～幼児教育学～	講義	2	1・2・3			本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅠA	★		1・2・3	教授	森田明美	
ヒューマンデザイン研究指導ⅠB	★		1・2・3	教授	森田明美	
ヒューマンデザイン研究指導ⅡA	★		1・2・3	教授	杉田記代子	
ヒューマンデザイン研究指導ⅡB	★		1・2・3	教授	杉田記代子	
高齢者・障害者支援学研究ⅠA ～障害者福祉論～	講義	2	1・2・3			本年度休講
高齢者・障害者支援学研究ⅠB ～障害者福祉論～	講義	2	1・2・3			本年度休講
高齢者・障害者支援学研究ⅡA ～精神保健学～	講義	2	1・2・3	教授	白石弘巳	ヒューマンデザイン研究指導ⅣAと共通
高齢者・障害者支援学研究ⅡB ～精神保健学～	講義	2	1・2・3	教授	白石弘巳	ヒューマンデザイン研究指導ⅣBと共通
高齢者・障害者支援学研究ⅢA ～介護福祉論～	講義	2	1・2・3	教授	渡辺裕美	ヒューマンデザイン研究指導ⅤAと共通
高齢者・障害者支援学研究ⅢB ～介護福祉論～	講義	2	1・2・3	教授	渡辺裕美	ヒューマンデザイン研究指導ⅤBと共通
高齢者・障害者支援学研究Ⅳ ～障害者支援制度・政策論～	講義	2	1・2・3			本年度休講
高齢者・障害者支援学研究Ⅴ ～高齢者支援制度・政策論～	講義	2	1・2・3			本年度休講

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	配当年次	職名	担当教員	備考
ヒューマンデザイン研究指導ⅢA	★		1・2・3			本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅢB	★		1・2・3			本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅣA	★		1・2・3	教授	白石 弘 巳	
ヒューマンデザイン研究指導ⅣB	★		1・2・3	教授	白石 弘 巳	
ヒューマンデザイン研究指導ⅤA	★		1・2・3	教授	渡辺 裕 美	
ヒューマンデザイン研究指導ⅤB	★		1・2・3	教授	渡辺 裕 美	
健康デザイン学 研究ⅠA ～スポーツ人類学～	講義	2	1・2・3			本年度休講
健康デザイン学 研究ⅠB ～スポーツ人類学～	講義	2	1・2・3			本年度休講
健康デザイン学 研究ⅡA ～人体構造論～	講義	2	1・2・3	教授	大迫 正文	ヒューマンデザイン研究 指導ⅦAと共通
健康デザイン学 研究ⅡB ～人体構造論～	講義	2	1・2・3	教授	大迫 正文	ヒューマンデザイン研究 指導ⅦBと共通
ヒューマンデザイン研究指導ⅥA	★		1・2・3			本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅥB	★		1・2・3			本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅦA	★		1・2・3	教授	大迫 正文	
ヒューマンデザイン研究指導ⅦB	★		1・2・3	教授	大迫 正文	
人間環境デザイン学 研究ⅠA ～まちづくり特論～	講義	2	1・2・3			本年度休講
人間環境デザイン学 研究ⅠB ～まちづくり特論～	講義	2	1・2・3			本年度休講
人間環境デザイン学 研究ⅡA ～生活空間計画特論～	講義	2	1・2・3	教授	高橋 儀 平	ヒューマンデザイン研究 指導ⅨAと共通
人間環境デザイン学 研究ⅡB ～生活空間計画特論～	講義	2	1・2・3	教授	高橋 儀 平	ヒューマンデザイン研究 指導ⅨBと共通
人間環境デザイン学 研究ⅢA ～製品デザイン～	講義	2	1・2・3	教授		本年度休講
人間環境デザイン学 研究ⅢB ～製品デザイン～	講義	2	1・2・3	教授		本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅧA	★		1・2・3	教授		本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅧB	★		1・2・3	教授		本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅨA	★		1・2・3	教授	高橋 儀 平	
ヒューマンデザイン研究指導ⅨB	★		1・2・3	教授	高橋 儀 平	
ヒューマンデザイン研究指導ⅩA	★		1・2・3	教授		本年度休講
ヒューマンデザイン研究指導ⅩB	★		1・2・3	教授		本年度休講

博士後期課程（2009年度以降入学生）

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名、副指導教授1名（特に主指導教授から指示があった場合は、2名）とし、主指導教授および副指導教授は、2009年度以降入学生用課程表の「ヒューマンデザイン研究指導」を担当する教員の中から選ぶ。
- 研究指導は、各自の在籍セメスタごとに主指導教授のみの「研究指導」を履修すること。
- 主指導教授の講義は、同一科目であっても、各年度毎セメスタ履修すること。それ以外の教員の講義は主指導教授の指示を受けて決定すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで履修・単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得できる）。

【2009年度以降入学生課程表】

コース	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
子ども支援学コース	春	子ども支援学研究ⅠA	児童福祉論	講義	2	教授	森田明美	
	秋	子ども支援学研究ⅠB	児童福祉論	講義	2	教授	森田明美	
	春	子ども支援学研究ⅡA	脳科学に基づいた子ども健康発達支援論	講義	2	教授	杉田記代子	
	秋	子ども支援学研究ⅡB	脳科学に基づいた子ども健康発達支援論	講義	2	教授	杉田記代子	
	—	子ども支援学研究ⅢA	子どもの権利論	講義	2			本年度休講(隔年開講)
	—	子ども支援学研究ⅢB	子どもの権利論	講義	2			本年度休講(隔年開講)
	春	子ども支援学研究ⅣA	子どもの権利擁護システム論	講義	2	非常勤講師	荒牧重人	隔年開講(2015年度休講)
	秋	子ども支援学研究ⅣB	子どもの権利擁護システム論	講義	2	非常勤講師	荒牧重人	隔年開講(2015年度休講)
	春	子ども支援学研究ⅤA	幼児教育学	講義	2	教授	鈴木佐喜子	
	秋	子ども支援学研究ⅤB	幼児教育学	講義	2	教授	鈴木佐喜子	
	春	子ども支援学研究ⅥA	子どもの表現論	講義	2	教授	角藤智津子	
	秋	子ども支援学研究ⅥB	子どもの表現論	講義	2	教授	角藤智津子	
高齢者・障害者支援学コース	春	高齢者・障害者支援学研究ⅠA	障害者福祉論	講義	2	教授	是枝喜代治	
	秋	高齢者・障害者支援学研究ⅠB	障害者福祉論	講義	2	教授	是枝喜代治	
	春	高齢者・障害者支援学研究ⅡA	精神保健学	講義	2	教授	白石弘巳	
	秋	高齢者・障害者支援学研究ⅡB	精神保健学	講義	2	教授	白石弘巳	
	春	高齢者・障害者支援学研究ⅢA	介護福祉論	講義	2	教授	渡辺裕美	
	秋	高齢者・障害者支援学研究ⅢB	介護福祉論	講義	2	教授	渡辺裕美	
	—	高齢者・障害者支援学研究Ⅳ	障害者支援制度・政策論	講義	2			本年度休講
	—	高齢者・障害者支援学研究Ⅴ	高齢者支援制度・政策論	講義	2			本年度休講
	春	高齢者・障害者支援学研究ⅥA	医療福祉論	講義	2	教授	吉浦輪	
	秋	高齢者・障害者支援学研究ⅥB	医療福祉論	講義	2	教授	吉浦輪	

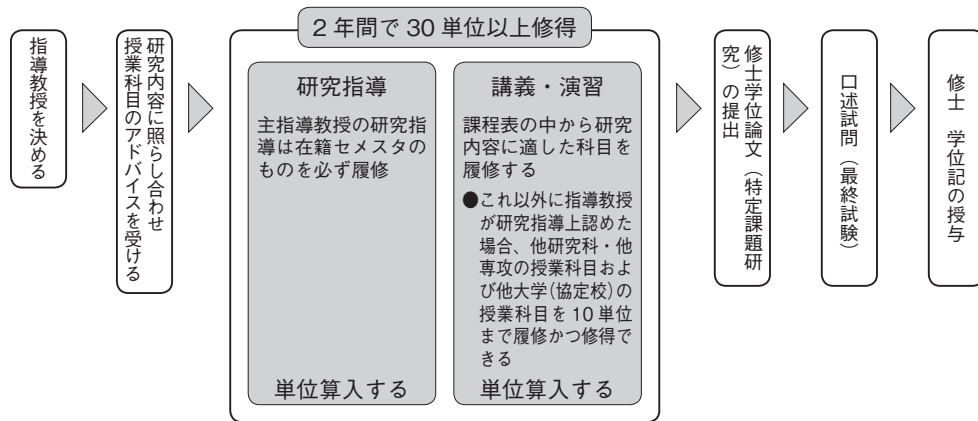
コース	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
健康デザイン学コース	春	健康デザイン学研究ⅠA	スポーツ人類学	講義	2			本年度休講
	秋	健康デザイン学研究ⅠB	スポーツ人類学	講義	2			本年度休講
	春	健康デザイン学研究ⅡA	人体構造論	講義	2	教授	大迫正文	
	秋	健康デザイン学研究ⅡB	人体構造論	講義	2	教授	大迫正文	
	一	健康デザイン学研究ⅢA	スポーツ史	講義	2			本年度休講
	一	健康デザイン学研究ⅢB	スポーツ史	講義	2			本年度休講
	春	健康デザイン学研究ⅣA	健康増進論	講義	2	教授	神野宏司	
	秋	健康デザイン学研究ⅣB	健康増進論	講義	2	教授	神野宏司	

研究指導

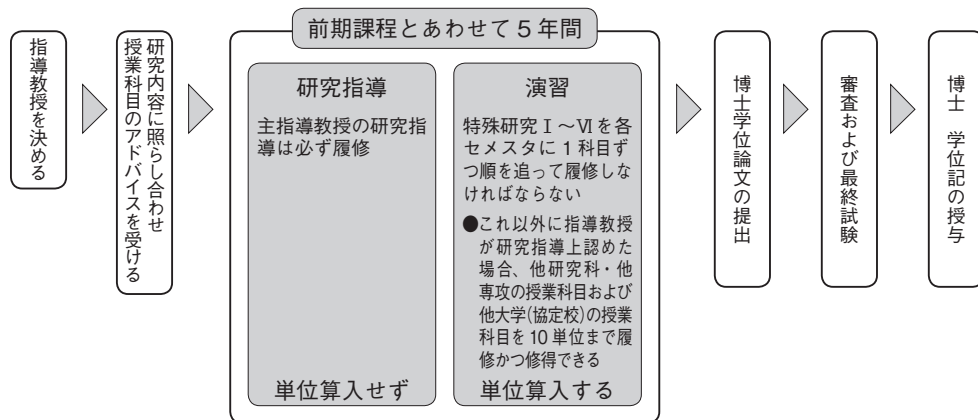
コース	学期	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
子ども支援学コース	春	ヒューマンデザイン研究指導					森田、杉田、鈴木(佐)、角藤	
	秋	ヒューマンデザイン研究指導						
高齢者・障害者支援学コース	春	ヒューマンデザイン研究指導					是枝、白石、渡辺、吉浦	
	秋	ヒューマンデザイン研究指導						
健康デザイン学コース	春	ヒューマンデザイン研究指導					大迫、神野	
	秋	ヒューマンデザイン研究指導						

人間環境デザイン専攻

前期課程 履修の流れ



後期課程 履修の流れ



人間環境デザイン専攻

博士前期課程

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 研究指導は、各自の在籍セメスタごとに主指導教授の「人間環境デザイン学研究指導」を履修すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで履修・単位修得することができる。修得した単位は修了要件の単位に充当する。
- 同一科目を2回以上履修・単位修得することはできない。
- 「修士論文」または「特定課題研究」の作成にあたっては、主指導教授の指導を受けなければならない。
- 特定課題研究のうち、修士制作を提出する場合の図書書式は下記のとおりとする。
 - 提出はA4またはA3サイズとする。
 - 内容
 - 調査報告あるいは設計趣意書（約40,000字～60,000字程度）
 - 図面もしくはそれに相当する表現：10枚～15枚程度（課題内容に合わせて書式は指示する）
 - 模型等の提出は認めるが、修士制作図書一式で表現が完結していること。
- 建築士試験の大学院における実務経験を認定してもらうためには、特定課題研究として「修士設計」の提出を求めることがあるので、指導教授の指示を受けること。

選択・必修の別	2014年度開講学期	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	配当年次	開講年度		職名	担当教員	備考
						2014	2015			
必修	春	人間環境デザイン基礎特論	講義	2	1・2	○	○		高橋（儀）、櫻井、繁成、奥村、水村、柏樹、嶺	
選択	—	地域計画特論	講義	2	1・2		○	准教授	菅原麻衣子	本年度休講（隔年開講）
	春	建築計画特論	講義	2	1・2	○		教授	高橋儀平	
	秋	建築設計特論	講義	2	1・2	○		教授	内田祥士	
	—	建築意匠特論	講義	2	1・2		○	教授	櫻井義夫	本年度休講（隔年開講）
	秋	建築構法特論	講義	2	1・2	○		准教授	名取 発	
	—	生活支援工学特論	講義	2	1・2		○	准教授	嶺也守寛	本年度休講（隔年開講）
	—	生活支援デザイン特論	講義	2	1・2		○	教授	繁成 剛	本年度休講（隔年開講）
	春	生活支援ロボット工学特論	講義	2	1・2	○		教授	高橋良至	
	—	住居計画特論	講義	2	1・2		○	教授	水村容子	本年度休講（隔年開講）
	—	製品デザイン特論	講義	2	1・2		○	教授	奥村和正	本年度休講（隔年開講）
	春	アクセシブルデザイン特論	講義	2	1・2	○		准教授	池田千登勢	
	春	ヒューマンインターフェイス特論	講義	2	1・2	○		准教授	北 真 吾	
	春	インテリアデザイン特論	講義	2	1・2	○		准教授	柏 樹 良	
	—	生活空間計画特論	講義	2	1・2		○	教授	川内美彦	本年度休講（隔年開講）
	—	医療福祉建築特論	講義	2	1・2		○			本年度休講（隔年開講）
	—	建築環境特論（一級建築士資格対応）	講義	2	1・2		○	非常勤講師	斎藤宏昭	本年度休講（隔年開講）
	秋	コミュニケーション支援技術特論	講義	2	1・2	○		非常勤講師	中邑賢龍	集中講義
	—	認知心理学特論	講義	2	1・2		○	非常勤講師	須藤 智	本年度休講（隔年開講）
	春	産学協同特別実習ⅠA	演習	2	1	○	○		研究指導担当教員	
	秋	産学協同特別実習ⅠB	演習	2	1	○	○		研究指導担当教員	
春	産学協同特別実習Ⅱ	演習	2	2	○	○		研究指導担当教員		

選択・必修の別	2014年度 開講学期	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	配当年次	開講年度		職名	担当教員	備考
						2014	2015			
4単位選択必修	—	建築計画特別演習A	演習	2	1・2		○	右記教員	水村容子、菅原麻衣子	本年度休講(隔年開講)
	—	建築計画特別演習B	演習	2	1・2		○			
	春	建築設計特別演習A	演習	2	1・2	○		右記教員	内田祥士、山本成一郎(非常勤講師)	
	春	建築設計特別演習B	演習	2	1・2	○				
	春	建築設計特別演習C	演習	2	1・2	○				
	—	生活支援デザイン特別演習A	演習	2	1・2		○	右記教員	川内美彦、繁成 剛	本年度休講(隔年開講)
	—	生活支援デザイン特別演習B	演習	2	1・2		○			
	春	製品デザイン特別演習A	演習	2	1・2	○		右記教員	奥村和正、柏樹 良	
春	製品デザイン特別演習B	演習	2	1・2	○					
必修	春・秋	人間環境デザイン学研究指導IA	研究指導	2	1	○	○	各指導員	高橋(儀)、内田、櫻井、名取、繁成、高橋(良)、水村、奥村、池田、北、柏樹、菅原、嶺	1セメスタ在籍者
	春・秋	人間環境デザイン学研究指導IB	研究指導	2	1	○	○			2セメスタ在籍者
	春・秋	人間環境デザイン学研究指導IIA	研究指導	2	2	○	○			3セメスタ在籍者
	春・秋	人間環境デザイン学研究指導IIB	研究指導	2	2	○	○			4セメスタ以上在籍者

注：春・秋は、春または秋の意で、在籍セメスタの学期を指す。

博士後期課程

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 原則として、「人間環境デザイン学特殊研究Ⅰ～Ⅵ」は、主指導教授または副指導教授の科目を在籍セメスタごとに1科目ずつ順を追って履修すること。
- 研究指導は、各自の在籍セメスタの主指導教授の「人間環境デザイン学研究指導」を履修すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学(協定校)の授業科目を10単位まで履修・単位修得することができる。

選択・必修の別	開講学期	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	配当年次	開講年度		職名	担当教員	備考
						2014	2015			
必修	春・秋	人間環境デザイン学特殊研究Ⅰ	演習	2	1	○	○	各指導教員	高橋儀平、奥村和正、内田祥士、繁成 剛、櫻井義夫、水村容子、高橋良至	1セメスタ在籍者
	春・秋	人間環境デザイン学特殊研究Ⅱ	演習	2	1	○	○			2セメスタ在籍者
	春・秋	人間環境デザイン学特殊研究Ⅲ	演習	2	2	○	○			3セメスタ在籍者
	春・秋	人間環境デザイン学特殊研究Ⅳ	演習	2	2	○	○			4セメスタ在籍者
	春・秋	人間環境デザイン学特殊研究Ⅴ	演習	2	3	○	○			5セメスタ在籍者
	春・秋	人間環境デザイン学特殊研究Ⅵ	演習	2	3	○	○			6セメスタ以上在籍者
必修	春	人間環境デザイン学研究指導(春学期)	研究指導		1~3	○	○	各主指導教員	高橋儀平、奥村和正、内田祥士、水村容子、高橋良至	各セメスタごとに履修
	秋	人間環境デザイン学研究指導(秋学期)	研究指導		1~3	○	○			各セメスタごとに履修

注：春・秋は、春または秋の意で、在籍セメスタの学期を指す。

■産学協同特別実習ⅠA・ⅠB・Ⅱについて

本実習は、人間環境デザイン専攻のインターンシップ科目である。ただし、建築・環境デザインコースの院生にとっては、一級建築士受験に際して、大学院在学期間の内一年間を実務経験年数として換算するためにも用いることが出来る科目として配置されている。本実習を実務経験年数として換算するために用いる場合には、あらかじめ、その旨指導教員に申し出て、必要な手続をとる必要がある。その上で、指導教員が適切と判断した一級建築士事務所に出向き、設計図書の作成等の建築設計補助業務を行う。したがって、直接の指導は出向先の有資格者（一級建築士）から受ける事になる。事前ガイダンスと事後報告計10時間とインターンシップ80時間の合計90時間で2単位とする。なお、建築設計補助業務とは下記の4つとする。

- ・実際の設計活動における設計補助作業
- ・実際の確認申請における申請業務の補助
- ・実際の工事監理における監理業務の補助
- ・設計競技或いはプロポーザル等の設計補助作業

本科目を受講した院生は単位の取得に際して、日報を提出し業務内容を指導教員に報告すること。

また、道具・機器デザイン及び製品・情報デザインの各コースにおいては、通常のインターンシップ科目として運用されるが、合計90時間で2単位であること、単位の取得に際して、日報を提出し業務内容を指導教員に報告する点は、建築・環境デザインコースの場合と同様である。

■人間環境デザイン学研究指導ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡBをインターンシップ科目とする場合について

本科目をインターンシップ科目とするのは、建築・環境デザインコースの院生が大学院在学期間の全て（2年間）を実務経験年数として換算する場合のみとする。その場合、その院生は、特定課題研究として、インターンシップ報告書（インターンシップを体系的に整理したポートフォリオを含む）を提出しなければならない。

なお、本科目をインターンシップ科目とする場合、学外インターンシップとする場合と、学内インターンシップとする場合があり、どちらにするかは、指導教員の指導によるが、前者とする場合は、産学協同特別実習と同じ形式で行うものとする。

また、合計90時間で2単位であること、単位の取得に際して、日報を提出し業務内容を指導教員に報告する点は、産学協同特別実習の場合と同様とする。

■一級建築士受験資格と実務年限

建築・環境デザインコースの大学院博士前期課程の学生は、インターンシップ関連科目の取得に応じて、大学院の2年間の半分または全てを一級建築士受験資格の実務年限として換算することが出来る。その選択は、大学院生自身によるが、その全てを一級建築士受験資格の実務年限として換算することを希望する場合には、入学または進級時に、その意志を指導教員に申し出ること。

なお、インターンシップ及び関連科目の詳細については、シラバスを確認すること。